

「学校生活に関するアンケート」＜自由記述＞に寄せられたご意見に対する回答

多数のご意見をいただきました。全体に関わることについて、内容ごとに分類し、回答させていただきました。

(・＝保護者の皆様からいただいた声の要約 A＝学校としての回答)

【学級の人数】

- ・30人を超えるとときめ細やかな指導ができないのではないですか。
- ・30人を超えると先生の負担が大きいのではないですか。

A 学年全体の児童数により、30人を超える学級があります。市でも、支援員の拡充に動いておりますが、人材不足や予算等の兼ね合いもあり十分でないのが現状です。今年度は、教科によっては授業お助け隊のかたにすいぶん助けていただきました。

【カリキュラム】

- ・夏休みを短くして毎日にゆとりをもたせられないですか。

A 長期休業期間については、豊橋市で統一されており、学校独自で変更することが難しいのが現状です。

【学習指導】

- ・漢字計算コンクールがあった方がよいのではないですか。

A コンクールは行っていませんが、日々の学習の中で力をつけています。

- ・ストーリーテリングを聞く機会を設けてほしいです。(他校で行っている)

A おはなし会の中でストーリーテリングをやってくださるかたもいます。おはなし会のボランティアのかたが一生懸命やってくださっていますので現時点では常時活動としては考えておりません。

- ・ランドセルの荷物が多く負担になるので、置き勉を認めてほしいのですが。

A 宿題や自主学习等で必要なものだけ持ち帰っています。高学年になると、自主勉強やテスト勉強など、宿題でないけれど持ち帰りが必要なものが出てくる場合があります。

- ・外遊びの機会が減っているので、運動する時間を増やしていけるとよいと思います。

A 天気のよい日は外に出て遊ぶことを今後も奨励していきます。また、校内に手形や足形などを掲示し、ふだんの生活に中でも自然に運動できる工夫をしています。

- ・算数の習熟度別学習の効果が知りたいです。

A 4、5年生全員に、以下のようなアンケートを行いました。①「少人数での授業は、わかりやすいですか？」という問いには、よくわかる50.9%、どちらかというわかりやすい26.4%という7割以上でよい回答が得られました。ただ、授業を進める中で、さまざまな課題も見えてきました。今後、学習進度や学習内容について検討してまいります。

・高学年で取り組んでいる教科担任制の効果が知りたいです。

A 専門性の高い教科担任が授業を行うことや各担任が教材研究を十分行った上で授業ができるという利点もあり、子どもたちにとってわかりやすい授業展開ができています。また、学年の教師がすべての学級で授業をすることで、学年全体の様子や個々の特性がわかり、指導や支援の効率が上がっています。

・出前授業の内容について、どのような観点で講師を要請しているのですか。

A 教育委員会より出前講座の紹介があって申し込むものと、学校独自でお願いするものがあります。講師のかたに出前講座を実施していただくことで、教師だけではできない学習内容や体験をすることができ、子どもたちの知見を広げることができています。

【夏休みの宿題】

・保護者の負担が大きいので、作文ポスターなどは自由参加にできませんか。

・夏休みの宿題を相談する機会を設けてほしいです。

A 夏休みは、ご家庭で過ごし方等についてその子に合ったものを検討していただき、有意義に過ごしていただきたいです。今後、応募作品については、検討してまいります。

【成績】

・これまではなかったのに、1年の1学期◎が付き出したことについて、どのように受け止めてよいのか、受け止め方に戸惑ってしまいました。

A 1学期の通知表配付時に、「通知表の見方」について配付させていただいております。今後もそちらでご確認ください。

・通知表の評価基準が厳しすぎるのではないですか。

A 1学期に配付させていただいた「通知表の見方」の通りです。豊橋市内同じ基準で成績をつけております。また、学習の様子については、1、2学期末の個別懇談会でお話させていただいております。

【学級経営】

・騒ぐ児童への対応、学級をコントロールして落ち着いた学習環境をお願いしたい。

A 問題行動があった場合の対応については、担任だけで対応するのではなく、チームで対応させていただいております。

【読書指導】

・多読を奨励してほしいです。（さらに読書する機会を）

A 朝の活動で、「朝読書」の時間を設け、習慣づけを図っております。委員会活動の中でも、図書委員会で企画し多読を奨励しております。ご家庭でも、家族で話し合ってください、読書の時間をつくっていただけるとありがたいです。

【生徒指導】

- ・もう少し厳しくしてもよいのではないですか。
- ・相手を思いやる心が希薄になっている気がします。他者をいたわることの大切さを再認識する機会をもってほしいです。

A さまざまな機会を通して、他者をいたわる心、思いやる心を育ててまいります。

- ・子ども目線で考えてくれる先生が少ないように感じます。
- ・かけ足練習時の服装など、細かい規定がありすぎて松葉小の魅力がなくなっているのではないですか。子どもが自ら考えて行動する松葉小のよさがなくなり、時代に逆こうしているのではないかと考え直してほしいです。

A 規定については、時代に合ったものになるよう毎年見直しを図り、「松葉の子」に示させていただいております。ご意見としていただき、検討してまいります。

【保健指導】

- ・給食後の歯磨き指導を復活してほしいです。

A 歯磨きについては場所の確保が十分できないことから一斉には行えないのが現状です。必要であれば個別に対応させていただきます。

【安全指導】

- ・登下校時外国人の自転車の集団と出くわして危険を感じます。

A 関係する団体には、要望を出させていただき改善をお願いしてあります。

【給食指導】

- ・新型コロナも5類になったので、そろそろ給食は向き合って食べれないのですか。

A 向き合って食べても構いません。ただ、新型コロナに限らず、感染症流行時には、前向き給食を行う場合があります。

【行事】

- ・遠足など、友達と過ごす思い出になる活動を増やしてほしいです。
- ・行事やイベントの内容が保守的で、子どもが自主的に企画して挑んでいる感じがしません。

A 遠足については、本校の教育課程に位置づけられてないことから行っておりません。遠足に行かなくても、さまざまな学習や活動を協働的に行うことで、心に残る学校生活になればと思っております。6月に行った「なかよしフェスティバル」をはじめ、委員会や「縦割り班活動」など、子どもたちの主体性を伸ばす活動を計画実践してまいりました。今後も継続していけたらと思っております。野外活動については、文書でお知らせしたとおり、6月の豪雨による施設の変更等もあり、6月の時点で未実施の学校は宿泊できなくなりました。キャンプファイヤーの説明が不十分であったことについては今後気をつけてまいります。

【運動会】

- ・玉入れや綱引きなど盛り上がる競技が増えるとよいと思います。低中学年も高学年のクラス対抗のように盛り上がる種目があるとよいと思います。
- ・徒競走の順位をつけてほしいと思います。

A ご意見としていただき、本校の教育目標や運動会のねらい、目標と照らし合わせて子どもたちにとってどういったものがよいのか、検討してまいります。

【学習発表会】

- ・異学年を見合う機会があるとよいです。学芸会を復活させてほしいです。演じることや一つのことを創りあげる体験をさせたいです。
- ・学習発表会の内容が機械的で残念でした。劇や合奏などに戻した方がよいのでは、ないかと思えます。

A 本校では、学習発表会を、学習したことの内容から発信・発表する場として位置づけています。各教科の指導内容の中で行うことを考えると、かつてのようないわゆる学芸会は行えません。必ずしも華やかなものになるとは限りませんが、子どもたちも教員も一生懸命取り組んでおります。他学年や他学級のものを見合う機会は、今年度も可能な限り行いましたが、今後も設けていきたいと思っております。

【修学旅行】

- ・修学旅行の食事で、旅館のご飯が冷たかったりしたと聞いたが、そのような宿をなぜ選定したのでしょうか。

A 修学旅行の業者選定については、前年度の段階で複数の業者から見積りを取り、校内業者選定委員会を開いて総合的に判断して選定しております。問題があった宿については、問題が改善されない限り次年度以降選定から除外する方針であります。

【情報発信】

- ・どの学級も学級通信があるとよいです。

A 学級通信は、担任の裁量となっております。学級の様子については、子どもの声でお届けできたらと考えております。子どもが家で話したくなるような授業や活動を目ざしていきたいと思えます。

【施設】

- ・12月のマラソン大会後、急に運動場にあったサッカーゴールが隅に移動されてしまいました。サッカーゴールを移動しないでほしかったです。また、今年度途中で中学生の立ち入りを禁止したと聞きました。校区に公園が少ない中で、子どもたちの遊び場所を奪わないでほしかったです。

A サッカーゴールについては、部活動が廃止になってから学校ではいっさい使用しておりません。運動場を障害物なく安全に伸び伸びと使用させたいという思いから、今回隅に置くこととなりました。授業後や休日については、基本的に、市に届けている団体と松葉小学校に在籍している児童と保護者のみの使用とさせていただいております。子どもや保護者のかたには、安全に気をつけてどんどん使って運動してもらえたらと思います。中学生については、これまで申し出れば許可しておりましたが、「中学生が遊んでいて小学生が自由に使えない」「サッカーボールや野球ボールが体育館の屋上に上がってし

まう」「バスケットゴールにぶら下がる」など、トラブルがあった折にはその都度教員が対応せざるを得ない状況が続きました。安全面も含め、上記のかた以外については使用を許可しないことといたしました。

【励まし・感謝の声】

- ・縦割り班活動は他学年と交流できてよい機会になっています。
- ・登校時に先生方が交差点に立って来て、挨拶をしてくれます。
- ・児童がたくさんいる中で、先生が一人一人の特性を見て一生懸命やってくれています。
- ・子どもの特性や調子に合わせて進度や内容を調節してくれています。
- ・一人一人に目を配ってくれています。
- ・ボランティアでよく学校に行きますが、先生がたが大変よくやってくれているのを感じます。
- ・デジタル化を進めてくれて助かります。（eメッセージでの欠席連絡が可能に）
- ・地域に出かけての活動がよいと思います。出かけた日は子どもが楽しそうに話してくれます。
- ・学級通信を出していただきありがとうございます。様子がよくわかります。
- ・習熟度別の取り組みがよいです。
- ・熱心な先生がたのおかげで楽しく学校に行けています。

今回、ご回答いただいたアンケートの集計結果と多数のご意見を参考に、教育活動を計画実践してまいります。